

事業
項目

(9) 経済成長と脱炭素社会が両立する環境・エネルギー政策の推進

事業項目詳細

脱炭素社会の推進

グリーン成長および3E+Sを前提とした
カーボンニュートラル実現に向けた取り組み

主な実施内容

- 国のエネルギー政策の中長期的な方針を示す「エネルギー基本計画」の見直しに対し、パブリックコメントを通じて意見を発信した(9月)。
- 環境・エネルギー政策に関する最新動向について、講演会や視察会を開催し、参加者の理解促進を図った。
- 関西財界セミナーでは、「カーボンニュートラルに向けたエネルギー政策、および関西が先駆けるグリーン技術がもたらす未来社会を考える」をテーマとする分科会において、エネルギー政策のあり方、関西が先駆けるグリーン技術がもたらす未来社会像などについて議論を交わした(2月)。
- ウクライナ情勢を背景とした世界的なエネルギー資源価格の高騰が国内外の経済活動や国民生活に与える影響を緩和すべく、適切かつ迅速な対応を政府に求めるとともに、エネルギーの安定供給に向けて必要な取り組みについて意見を述べる「ウクライナ情勢をふまえたエネルギーに関する緊急提言」を公表した(3月)。

学習機会の提供

次世代などへの環境・エネルギー政策に関する
学習機会の提供

- 資源エネルギー庁と合同で、和歌山大学にて、出前講座「エネルギー政策をめぐる最近の動向と今後の方向性」を開催し、参加者のエネルギー政策への理解促進を図った(6、7月)。
- 環境・エネルギー関連部門や企画系の部門等に所属する若手・中堅社員を対象とした「未来志向型共創プロジェクト」を開催した(7、9、12、3月)。

Topics

脱炭素社会の推進に向けた取り組み

当会では、グリーン成長およびS+3Eを前提としたカーボンニュートラルの実現に向け、企業の脱炭素化の取り組みにつながる情報や国内外の政策動向等について、時宜に適った講演会や視察会等を通じ、会員へ情報提供を行っている。

2021年度は、コーポレートガバナンス・コードの改訂を6月に控え、「ESGとSDGsが変える企業と株主・社会との関係性」をテーマにした講演会を5月に開催した。また、8月には、カーボンプライシングを巡る国内外の政策動向等に関する講演会を開催し、これまでの議論の整理や今後の論点等に関する情報を提供した。

さらに、国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)が「第6次評価報告書」を公表するなど、気候変動問題への関心が一層高まるなか、年縞[※]から過去の気候変動を明らかにし、未来の気候変動を予測しようと試みる「古気候学」に関する講演会を10月に開催した。

12月には、「第6次エネルギー基本計画」(2021年10月22日閣議決定)に関する講演会や「福井県年縞博物館」の視察に加え、COP26の開催結果等を踏まえ、「地球温暖化をめぐる国際情勢と日本の課題」をテーマにした講演会も開催した。

今後も、持続的な経済成長と環境の両立の推進に取り組んでいく。

※年縞…水月湖(福井県)の湖底に堆積している地層。過去7万年分の情報が蓄積されており、考古学などで出土物の年代を測定する、世界標準の「ものさし」となっている。



気候変動問題に関する視察会



講演会の様子